



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場取引所 東 名

上場会社名 JFEホールディングス株式会社
 コード番号 5411 URL <http://www.jfe-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR部広報室長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月2日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 林田 英治
 (氏名) 原 守良

TEL 03-3597-3842

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,499,588	△12.5	4,050	△91.8	△10,125	—	△8,417	—
28年3月期第2四半期	1,713,224	△7.3	49,461	△39.8	48,389	△47.4	29,928	△42.8

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △65,081百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △23,054百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△14.60	—
28年3月期第2四半期	51.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	4,133,988	1,784,726	41.9	3,003.86
28年3月期	4,234,884	1,857,921	42.6	3,128.36

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 1,732,349百万円 28年3月期 1,804,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	10.00	30.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,290,000	△4.1	50,000	△44.8	30,000	△53.3	15,000	△55.4
								26.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	614,438,399 株	28年3月期	614,438,399 株
29年3月期2Q	37,730,032 株	28年3月期	37,714,629 株
29年3月期2Q	576,716,832 株	28年3月期2Q	576,729,658 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載することとしております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 参考資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益は底堅く推移し、雇用情勢は改善しているものの、個人消費の低迷や円高の影響による輸出の伸び悩みなど、内外需とも力強さを欠き、景気は足踏み状態が続きました。また、海外経済は新興国経済の下振れリスクや英国のEU離脱決定の影響等により、引き続き不透明感の強い状況にあります。このような状況のもと、セグメント別の業績は、以下のとおりとなりました。

鉄鋼事業においては、国内の在庫調整は一定の進捗が見られるものの、鋼材需要の回復は力強さを欠く状況が続きました。海外については昨夏以降急激に下落した鋼材市況に下げ止まりが見え、分野によっては一定の回復が見られますが、アジアにおける鋼材の供給過剰の影響は依然として大きく、全面的な市況回復には至っておりません。このような状況のもと、売上高は1兆724億円と前年同期に比べ1,736億円の減収となりました。損益については、収益改善に継続的に取り組んだものの、販売環境の悪化や急激な円高の進行の影響もあり244億円の経常損失となり、前年同期に比べ630億円悪化しました。

エンジニアリング事業においては、環境・エネルギー分野やインフラ構築分野をはじめとする受注済プロジェクトを着実に遂行した結果、売上高は1,753億円と前年同期に比べ218億円の増収となりました。損益については、売上の増加に加え、コスト削減等による利益確保に努めた結果、76億円の経常利益となり、前年同期に比べ76億円好転しました。

商社事業においては、国内外における販売単価の下落等により、売上高は7,758億円と前年同期に比べ1,387億円の減収となりました。また経常利益は76億円となり、前年同期に比べ22億円の減益となりました。

以上の結果、当期におけるグループ全体の売上高は、前年同期に比べ2,137億円の減収となる1兆4,995億円となりました。営業利益は40億円となり、前年同期に比べ454億円の減益となりました。経常損失は101億円となり、前年同期に比べ584億円悪化しました。

また、税金等調整前四半期純損失は65億円、親会社株主に帰属する四半期純損失は84億円となり、前年同期に比べそれぞれ548億円、383億円悪化しました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

通期のセグメント別の業績は以下のとおりに見込んでおります。

鉄鋼事業については、国内鋼材需要は足下では足踏み状態が続いておりますが、下期は自動車や建築分野の鋼材需要が増加するとみており、緩やかに回復に向かうと想定しております。海外市況は分野によっては一定の回復が見られるものの、エネルギー分野が引き続き停滞しており、全面的に回復する状況とはなっておらず、依然として今後の動向は不透明な状況にあります。こうした中、足下で原料炭価格が急騰しており、大幅なコストアップが見込まれるため、鋼材価格の改善に取り組んでおりますが、当期の損益については前回見通しを下回る150億円の経常損失となる見込みです。厳しい収益環境の中、新規稼働設備によるコスト削減を早期に実現し、また、第5次中期経営計画にて策定した製造基盤強化、プロダクトミックス改善および海外事業の推進の取り組みを確実に実行し、収益基盤強化を進めてまいります。

エンジニアリング事業においては、再生可能エネルギー関連ビジネスや廃棄物処理プラントなどの環境・エネルギー分野および橋梁や港湾設備をはじめとするインフラ構築分野での更なる拡大を目指し、積極的な受注活動を展開しております。受注済プロジェクトは過去最高の水準にあり、経常利益も過去最高の270億円となる見通しです。

商社事業においては、鋼材価格の下落や為替による影響があるものの、海外グループ会社の収益改善等により、経常利益は前年度を上回る200億円となる見通しです。

以上より、通期のグループ全体の売上高は3兆2,900億円、営業利益は500億円、経常利益は300億円、親会社株主に帰属する当期純利益は150億円となり、経常利益は前回見通しを下回る見込みです。

なお、当期の中間配当については、現下の損益状況を踏まえ、見送ることといたしました。期末の配当については、今後、業績動向を見極めつつ検討することとしており、未定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は118百万円増加し、経常損失および税金等調整前四半期純損失はそれぞれ118百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,654	142,550
受取手形及び売掛金	720,639	626,401
商品及び製品	311,234	297,786
仕掛品	43,657	68,364
原材料及び貯蔵品	402,406	376,811
その他	166,672	162,934
貸倒引当金	△1,434	△1,234
流動資産合計	1,707,829	1,673,614
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	606,546	623,417
土地	497,285	496,638
その他（純額）	523,354	495,567
有形固定資産合計	1,627,186	1,615,624
無形固定資産	81,403	78,491
投資その他の資産		
投資有価証券	749,177	692,833
その他	73,809	77,087
貸倒引当金	△4,521	△3,662
投資その他の資産合計	818,465	766,258
固定資産合計	2,527,054	2,460,374
資産合計	4,234,884	4,133,988

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	422,331	386,257
短期借入金	353,382	228,565
コマーシャル・ペーパー	36,000	—
1年内償還予定の社債	20,000	50,000
引当金	11,185	9,949
その他	315,286	296,235
流動負債合計	1,158,185	971,007
固定負債		
社債	125,000	75,000
長期借入金	844,990	1,066,750
引当金	51,354	50,418
退職給付に係る負債	125,283	122,750
その他	72,148	63,335
固定負債合計	1,218,776	1,378,254
負債合計	2,376,962	2,349,262
純資産の部		
株主資本		
資本金	147,143	147,143
資本剰余金	646,380	646,549
利益剰余金	1,065,037	1,050,278
自己株式	△178,654	△178,672
株主資本合計	1,679,906	1,665,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101,709	91,003
繰延ヘッジ損益	△3,119	△2,492
土地再評価差額金	16,328	16,324
為替換算調整勘定	14,503	△33,779
退職給付に係る調整累計額	△5,130	△4,004
その他の包括利益累計額合計	124,290	67,051
非支配株主持分	53,724	52,376
純資産合計	1,857,921	1,784,726
負債純資産合計	4,234,884	4,133,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	1,713,224	1,499,588
売上原価	1,504,485	1,339,423
売上総利益	208,739	160,164
販売費及び一般管理費	159,278	156,113
営業利益	49,461	4,050
営業外収益		
受取利息	559	551
受取配当金	6,306	5,798
その他	13,650	12,786
営業外収益合計	20,516	19,136
営業外費用		
支払利息	6,478	6,022
為替差損	—	9,834
固定資産除却損	6,506	9,028
その他	8,602	8,427
営業外費用合計	21,587	33,312
経常利益又は経常損失 (△)	48,389	△10,125
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,537
特別利益合計	—	3,537
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	48,389	△6,587
法人税等	16,895	△203
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	31,494	△6,384
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,566	2,033
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	29,928	△8,417

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,494	△6,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,638	△10,935
繰延ヘッジ損益	△1,428	1,303
為替換算調整勘定	△1,452	△19,665
退職給付に係る調整額	45	984
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,076	△30,384
その他の包括利益合計	△54,549	△58,697
四半期包括利益	△23,054	△65,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,748	△65,652
非支配株主に係る四半期包括利益	1,693	570

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 参考資料

①連結業績(平成28年度 第2四半期連結累計期間実績および業績見通し)

(単位:億円)

【参考】

	平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		増減		平成28年度 前回見通し (7月29日) 年間
	第2四半期 連結累計期間 (4～9月)	年間	第2四半期 連結累計期間 (4～9月)	年間	第2四半期 連結累計期間 (4～9月)	年間	
売上高	17,132	34,317	14,995	32,900	△ 2,137	△ 1,417	
鉄鋼事業	12,460	24,451	10,724	22,700	△ 1,736	△ 1,751	
エンジニアリング事業	1,535	3,975	1,753	4,500	218	525	
商社事業	9,145	17,564	7,758	16,700	△ 1,387	△ 864	
調整額	△ 6,010	△ 11,674	△ 5,240	△ 11,000	770	674	
営業利益	494	906	40	500	△ 454	△ 406	650
営業外損益	△ 10	△ 263	△ 141	△ 200	△ 131	63	
経常利益	483	642	△ 101	300	△ 584	△ 342	
鉄鋼事業	386	278	△ 244	△ 150	△ 630	△ 428	
エンジニアリング事業	△ 0	200	76	270	76	70	
商社事業	98	157	76	200	△ 22	43	
調整額	△ 0	6	△ 10	△ 20	△ 10	△ 26	0
特別損益	－	100	35	35	35	△ 65	
税金等調整前当期純利益	483	743	△ 65	335	△ 548	△ 408	
税金費用・非支配株主帰属損益	△ 184	△ 406	△ 18	△ 185	166	221	
親会社株主に帰属する 当期純利益	299	336	△ 84	150	△ 383	△ 186	

②連結財務指標(平成28年度 見通し)

	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	増減
ROS	1.9%	0.9%	△1.0%
ROA	1.7%	1.0%	△0.7%
ROE	1.8%	0.8%	△1.0%
借入金・社債等残高	13,793億円	13,800億円	7億円
自己資本	18,041億円	17,500億円	△541億円
D/Eレシオ	56.9%	54.6%	△2.3%

(注) ROS : 経常利益／売上高

ROA : (経常利益＋支払利息)／総資産

ROE : 親会社株主に帰属する当期純利益／自己資本

D/Eレシオ: 借入金・社債等残高／自己資本

但し、格付け評価上の資本性を併せ持つ負債(※)について、格付機関の評価により、資本に算入。

※資本性を併せ持つ負債(劣後特約付ローン)

借入実行日	借入金額	資本性評価	資本算入額
	(億円)	(%)	(億円)
平成25年3月18日	3,000	75	2,250
平成28年6月30日	2,000	25	500

③ 粗鋼生産量 (JFEスチール)

(単位: 万 t)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成27年度 (単独)	654	691	1,345	698	693	1,391	2,736
(連結)	719	750	1,469	757	748	1,506	2,975
平成28年度 (単独)	694	706	1,400				
(連結)	752	762	1,514				

④ 鋼材出荷量 (JFEスチール、単独ベース)

(単位: 万 t)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成27年度	598	639	1,237	645	656	1,302	2,539
平成28年度	626	634	1,260				

⑤ 鋼材輸出比率 (JFEスチール、単独・金額ベース)

(単位: %)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成27年度	46.2	48.6	47.4	44.8	43.3	44.0	45.8
平成28年度	43.6	44.1	43.9				

⑥ 為替レート

(単位: 円/¥)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成27年度	121.0	122.6	121.8	121.2	117.7	119.5	120.6
平成28年度	111.1	103.5	107.3				

⑦ 鋼材平均価格 (JFEスチール、単独ベース)

(単位: 千円/t)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成27年度	73.5	68.8	71.0	65.1	60.6	62.8	66.8
平成28年度	58.5	58.6	58.6				

⑧ エンジニアリング事業の受注状況 (セグメント間の取引を含む)

平成28年度受注見込み 5,000億円 (平成27年度受注実績 5,094億円)

⑨ 借入金社債等残高および支払金利、現金及び預金残高 (JFEホールディングス、連結ベース、単位: 億円)

	借入金社債等残高	支払金利	現金及び預金残高
	年度末	年度	年度末
平成27年度 実績	13,793	△122	646
平成28年度 見通し	13,800	△130	500

⑩ 設備投資と減価償却費（JFEホールディングス、連結ベース、単位：億円）

	平成27年度 実績	平成28年度 見通し	
設備投資額	2,125	2,200程度	(工事ベース)
減価償却費	1,779	1,900程度	

⑪ 経常利益（鉄鋼事業）の増減内容

a. 平成28年度上期実績、対平成27年度上期実績比較 △ 630億円（386億円→△244億円）

(内容) 数量・販価・原料 △ 470

コスト削減 + 130

棚卸資産評価差等 △ 120

その他 △ 170

b. 平成28年度通期見通し、対平成27年度実績比較 △ 428億円（278億円→△150億円）

(内容) 数量・販価・原料 △ 900

コスト削減 + 300

棚卸資産評価差等 + 450

その他 △ 278

c. 平成28年度通期見通し、対前回見通し比較 △ 350億円（200億円→△150億円）

(内容) 数量・販価・原料 △ 450

棚卸資産評価差等 + 220

その他 △ 120

以 上